

経済建設委員会

本委員会では、担当部局より資料の提出並びに説明を求め、また原料ぶどう栽培農家、種苗センター、ワイン醸造施設の現地調査を行いワイン事業に対する調査を進めてきました。

ワイン事業は、農業振興の一環として傾斜地や石礫地の農地の有効活用を図り農家の所得向上を目的に、さらに食文化の向上を目指し、1972年富良野市ぶどう果樹研究所が設立されてから約40年の歴史があり、地域の産業振興、雇用拡大につながってきたところです。

現在、原料ぶどうの栽培農家は富良野地区と山部地区合わせて31戸あり、「良いワインは良いぶどうから」を基本理念に糖度の高い良質な原料ぶどうの栽培に努めています。また、市の直営圃場では交配品種の試験栽培や従来の定番商品の原料であるセイベル以外にもヨーロッパの高級品種を試験栽培し、富良野の気候・風土に合う原料ぶどうの品種の選定を行ってきてい



ぶどう栽培現況調査

ます。その努力は、国産ぶどうを原料とするワインの品質を評価する「国産ワインコンクール2011」において、ふらのワイン白とソレイユの2点が銅賞を受賞し、ふらのワイン白は初、ソレイユは5年連続の受賞となり、ワイン生産に携わる多くの皆さんの日頃の努力の結晶と高く評価するものです。

現地視察では、生産者も今回の受賞を喜び、今後の励みとしています。同時により良いぶどう生産のために技術指導、品種の選定、後継者問題、ワインの消費拡大などの提案や意見を頂きました。今後は都市事例調査、他の農産加工事例や地域ブランド等の調査を進めます。

議会改革特別委員会

議会改革特別委員会は、地方分権時代に即した議会の在り方と、議会活動の活性化や議員定数等の問題を含め、より市民に身近な議会であるためにはどうあるべきかという課題を検討・改善するため平成17年第4回定例会に第1次の委員会が設置され議会改革を行ってきました。

第3次特別委員会の最終報告において、今後の課題として議会報告会の在り方、広聴広報活動の在り方、自由討議の充実、議会基本条例制定など8項目が検討課題とされました。

その具体的検討と実施に向け、今年第2回臨時会において第4次の議会改革特別委員会が設置され、これまで6回の委員会を開催してきました。初めに議会改革の必要性や基本的な考え、議会の使命と議員の職責など議会の認識を深め、課題の一点目である議会報告会の在り方、議会報告会の位置付について議論を重ねてきました。特に、幅広く住民の多様なニーズを再認識

するために、年代・産業別、NPO法人などとの幅広い議会報告会を開催すべき等多くの意見が出され、今年度14会場で行う議会報告会で、議会報告会の在り方について市民の皆さんの意見を聴取し、改めて実践と検証を行うことで意見の一致を見たところでした。

課題の二点目のインターネットによるライブ中継の検討は、ユーストリームを利用した議会中継を念頭に費用対効果、技術的検討、さらに第2回定例会会期中に議会中継デモを実施してきたところです。また、同日議会報告会にかかる自由討議も開催しており、今後より充実した議会報告会を目指します。

